



# ヨコゼ音楽祭

第22回

## 8.19 名曲コンサート

【日】 開場 pm 5:30 開演 pm 6:00 横瀬町町民会館ホール

### 千住真理子

幻の名器ストラディヴァリウス「デュランティ」と運命的な出会いを果たした千住真理子が贈る名曲の数々

#### 山洞 智 (ピアノ)

- 曲目  
ベートーヴェン：ロマンズ第2番  
ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ 第5番「春」  
サラサーテ：ツィゴイネルワイゼン ほか  
※曲目は変更される場合があります。予めご了承ください。
- 名曲コンサート入場料 (未就学児は入場できません)  
前売券 (全席指定席)：3,000円  
当日券 (残券がある場合のみ販売)：3,500円
- 入場券発売日：7月1日(日)より販売開始
- チケットのお求めは  
・横瀬町町民会館 ・横瀬町役場及び芦ヶ久保出張所  
・横瀬町総合福祉センター ・キンカ堂秩父店 ☎23-1331  
・矢尾百貨店 ☎24-8080 ・秩父楽器サービス ☎24-6791

## 8.18 ふれあいコンサート

【土】 開場 pm 5:30 開演 pm 6:00 横瀬町町民会館ホール

- 出演  
横瀬町立横瀬中学校音楽部／横瀬コーラスサークル
- フラメンコ  
森田志保 (バイレ)  
川島桂子 (カンテ)  
金田 豊 (ギター)  
島原英治 (ギター)  
スタジオフィッツ

- 入場料：100円 ※座席は全席自由席です。
- 入場券は横瀬町町民会館窓口で販売します。

主催／ヨコゼ音楽祭実行委員会 後援／横瀬町 協力／西武鉄道株式会社・秩父鉄道株式会社  
お問い合わせ／ヨコゼ音楽祭実行委員会事務局 (横瀬町町民会館内) ☎0494-22-2267  
<http://park12.wakwak.com/~yokoze-ongakusai/>



## 名曲コンサート出演者 Profile

### 千住真理子 (ヴァイオリン) Mariko Senju

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。パガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。慶応義塾大学卒業後、指揮者故ジュゼッペ・シノーポリに認められ、87年ロンドン、88年ローマデビュー。ビクターと専属契約を結び、CDは数々のヒット賞を受賞。

1986～88年NHK大型報道番組のキャスターを務め話題となる。国内外での活躍はもちろん、文化大使派遣演奏会としてブラジル、チリ、ウルグアイ等で演奏会を行う。チャリティコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。1993年文化庁「芸術作品賞」、1994年度村松賞、1995年モービル音楽賞奨励賞各賞受賞。1997年、全米でもCDを発売。1999年2月、ニューヨーク・カーネギーホールでのウェイル・リサイタルホールにて、ソロ・リサイタルを開き、大成功を収める。2000年デビュー25周年記念CDを発売。2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし話題になる。2003年東芝EMIより移籍第1弾となるCD「カンタービレ」を、2004年に第2弾の「愛の夢」を発売。2005年はデビュー30周年を迎え、ベルリン室内管弦楽団との共演による記念コンサートのほか、記念アルバム「愛のコンチェルト」を発売。2007年はスロヴァキア室内オーケストラ、および小林研一郎率いるオランダ・アーネム・フィルハーモニー管弦楽団と全国で共演し、好評を博した。著書には「聞いて、ヴァイオリンの詩」のほか、母との共著「母と娘の協奏曲」(時事通信社)などがある。

### 山洞 智 (ピアノ) Satoshi Sando

4歳からピアノを14歳から作曲を学ぶ。東京芸術大学附属音楽高校を経て、1991年東京芸術大学作曲科を卒業。93年同校大学院修了。これまで作曲を国越健司、永富正之、ピアノを奥村洋子、関根聰子、奏はるひ、室内楽をH.ピュイグ・ロジェの各氏に師事。90年大学より安宅賞受賞。91年第1回日本室内楽コンクール入選。同年第60回日本音楽コンクール作曲部門第2位(1位なし)、併せて安田賞受賞。93年4月より母校の東京芸術大学にて2年間、非常勤講師を務める。その後95年9月フランス政府給費留学生として渡仏。パリ高等音楽院Jean KOERNER氏のもとでさらに研鑽をつむ。97年8月に帰国。現在作曲と演奏の双方に涉り活動を展開、また両者を繋ぐ新曲の初演も多く手掛けている。98年4月よりふたたび東京芸術大学に復職。98年8月には国際交流基金派遣で南米ブラジル、アルゼンチンの各地まで演奏旅行にでかける。第14回ヨコゼ音楽祭に出演。

## ふれあいコンサート出演者 Profile

### 森田志保 (バイレ) Shiho Morita

秩父市出身。クラシックバレエを久保栄治に学び、後にフラメンコに出会う。碓山奈奈に師事し、エランヴィーターの一人として各公演に参加。第3回日本フラメンコ協会主催の新人公演にて奨励賞受賞。84年秩父にスタジオフィッツを、97年吉祥寺にスタジオトルネージョを設立し、後進の指導にあたる。最近はコンテンポラリーダンスユニット「flowers」にも参加し、他ジャンルとのコラボレーション等、活動の幅を広げている。スペイン舞踊振興マルワ財団の平成15年度創作活動助成対象作品に選ばれた「はな3」を9月に公演。04年10月「flowers」主催、府中美術館にて「PARADISE」を公演。05年11月には「はな4」を吉祥寺シアターにて公演。07年3月には「はな5」を吉祥寺シアターにて公演。

### 川島桂子 (カンテ) Keiko Kawashima

東京出身。アントニオ・マイレーナ一枚のレコードをきっかけにカンテ・フラメンコの世界に没入。ペペ島田らの下でコンパスを学びつつカンテを独習。渡西を繰り返す中で、スペイン国宝級の歌手であるファミリア・アグヘータらと親交を深めながら、その気風と演唱を身に付けた。1996年、第5回日本フラメンコ協会新人公演奨励賞受賞。現在、多くの舞踊家の伴唱をつとめる。また他ジャンルミュージシャンとの共演や、日本語カンテによる創作フラメンコ曾根崎心中への出演など実験的な舞台にも参加。カンテ・ソロの分野にも意欲を燃やす、数少ない日本人カンタオラーの一人。

### 金田 豊 (ギター) Yutaka Kaneda

1964年生まれ、新潟県出身。フラメンコギターを岡弘司、杉本良一両氏に師事。88年から2年間スペインに滞在しラファエル・リケニ、ホセ・ルイス・モンソンに師事。92年から再び1年間スペインに滞在し、舞踊家ホセ・ガルパンのもと、多数のスペイン人との共演で多くを学ぶ。帰国後東京を中心に活動しながらも数度渡西し、フラメンコの研究をしている。

### 島原英治 (ギター) Eiji Shimabara

幼少の頃から、父親の影響でフラメンコギター、クラシックギターのレコードを聴いて育つ。11才よりクラシックギターを始める。大学進学と共にフラメンコギターを説田稔氏に師事。後に木南利夫氏に師事。現在は埼玉県深谷市を中心に、秩父、群馬、都内で活動する。